# 令和3年度小平市立小平第十小学校~「全国学力•学習状況調査」結果概要~

# 1 調査目的•対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

# 2 調査内容

# (1)教科に関する調査

身に付けておかなかければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

# (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

## 3 各教科の調査結果の分析

#### 

自分の主張が明確に伝わるように、文書全体の構成や展開を考える問題の平均正答率が、都と比較して2.5ポイント上回り、全国と比較すると、7.7ポイント上回っていた。授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする意識が全国と比べて高かった。

### 課題

「目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付ける」問題の正答率が、東京都と比較して10.3ポイント下回っていた。また、児童質問紙の「国語の授業の内容は、よく分かりますか」では、否定的な回答率が高かった。個に応じた指導の充実を図り、読解力や情報を分析・活用する力を高める必要がある。

### 学校で取り組む具体的な改善策

- (1)学習課題に対して児童が調べ学習をする際に、学習者用端末を活用する等、個に応じた学びができるように学習機会を整備する。
- (2)社会科との教科横断的な指導を行い、資料から情報を読み取り新聞やレポート、プレゼンテーション 資料作りに取り組む授業を設けて情報活用能力を高めていく。

#### 

課題

商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式を表し、計算する問題の正答率が、東京都と比較して3.2ポイント上回り、全国と比べると7.5ポイント上回っていた。授業では公式のきまりを指導する際に、児童に理由を考えさせる指導を継続した成果といえる。

「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」問題の正答率が、東京都と比較して4.6ポイント下回っていた。また、児童質問紙の「算数の授業で活用したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか」では、肯定的な回答率が東京都より約4ポイント下回っている。基礎・基本の習得に努め、その力を活用する授業改善の必要がある

### 学校で取り組む具体的な改善策

- (1)習熟度別指導により個々の児童の実態を考慮して、基礎・基本の定着の徹底を図る。
- (2)考えを伝えあう時間を計画的に位置付け、他者と自分の考えの異同を考えたり、複数の解決のアイデアからよりよい解決を検討したりすることで、新たなことに気付いたり、互いの考えをよりよいものにしたりする機会を設ける。
- (3)学習内容に生活場面からの導入や活用場面の紹介等を工夫して取り入れていく。

「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものをつくり出したりする活動を行っていましたか」の質問に肯定的な回答をした割合が、全国と比べ約12ポイント、東京都と比べ約10ポイント上回っていた。

「将来の夢をもっていますか」及び、「自分でやると 決めたことは、やり遂げるようにしていますか」並 びに、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦して いますか」の質問に対して否定的な回答率が、全国 や東京都より上回っていた。また、5年生までに受 けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間 になっていたか」という質問に対して、否定的な回 答率が全国や東京都より上回っていた。児童に自信 をもたせる取組を設け、個々の状況に応じた丁寧な 指導を行う必要がある。

課題

### 学校で取り組む具体的な改善策

- (1) 日頃の学習活動はもちろん、学校行事等に対して明確な目標をもって取り組むようにし、最後までやり切れるよう一人一人の状況に応じた丁寧な指導や支援を行う。
- (2) 目標に向かって取り組む児童の活動に対して、褒め、認め、励ます等の評価を継続的に行い、自己 肯定感を高められる働きかけを行う。
- (3) 自己肯定感を高める取組を多く行い、児童の自尊感情を育み自分の将来に希望をもって進んでいこうとする意欲を醸成する。
- (4) 各教科の学習活動における児童の振り返りを丁寧に評価し、学習の理解度や指導方法を見直すポイントを把握して、より児童の実態に応じた授業を展開していく。